

札幌中学校区 小中一貫した教育グランドデザイン

札幌中学校 札幌小学校 伏古小学校 伏古北小学校 (開成小学校)

札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る

9年間を通した
子どもの学びのつながり

子ども理解・生徒
指導の連続性

推進の
視点

教職員の
連携・協働

家庭や地域との
関わり

地域の実態・願い

- 札幌市の北東に位置し、明治初期からの開拓の歴史をもつ地域であるが、現在は道路・河川が整備され宅地化している。
- 教育活動に協力的な保護者が多く、教育環境・自然環境は比較的よい。
- 幼・小・中が連携し、子どもの健やかな成長を願った活動を展開している。

札幌中学校区・目指す子ども像

- 目標をもって物事に取り組み、人と関わることで自分の成長につなげていくことができる児童生徒
- 自らの考えや判断を基に主体的に学ぶ児童生徒
 - 自分・仲間・家族・関わる人を思いやり、大切にできる心身共に健やかな児童生徒
 - 自ら描いた夢の実現のために、粘り強く活動に取り組める児童生徒

子どもの実態

児童・生徒は、概ね素直で落ち着いた学校生活を送っており、仲間と協力する行事などに對し、意欲的に取り組むことができる。

課題は、「自立」に向けて、何事にも自主的に粘り強く、挑戦すること。また、様々な変化に対応できる力をつけること。その基盤となる基礎的・基本的な知識・技能の習得である。

各校・学校教育目標

札幌中学校

科学的に思考し、個性豊かな実践力のある生徒の育成をめざす

行動する生徒 心豊かな生徒
健康な生徒 学習する生徒
しあわせをねがう生徒

札幌小学校

- ・よく考える子ども
～自ら課題を見つけ、筋道を立てて考える子ども
- ・健康で明るい子ども
～誠実で思いやりのある子ども
- ・進んで実行する子ども
～責任をもち、粘り強くやり抜く子ども

伏古小学校

未来を創造する、人間性豊かな子どもの育成

<よく考える子>進んで知識を求め、創造力に富んだ子ども

<思いやりのある子>人間や自然を愛し、美に感動する心情豊かな子ども

<ねばりつよい子> 使命と責任を自覚し、最後までやりぬく子

<明るく元気な子> 生命を尊重し、健康でたくましい子ども

伏古北小学校

自ら学び、たくましく生きる力と豊かな心をもつ子どもの育成

- ・自ら問題をもち、筋道をたてて考える子ども (知)
- ・友だちと仲良くし、思いやりのある子ども (徳)
- ・明るく責任もてる子ども (徳)
- ・進んで体をきたえることも (体)

具体的な取組

【知】

- ・小中の教育課程を俯瞰した連続性や効果を考慮したカリキュラムマネジメント
- ・学ぶ力の育成プランを基にした育てたい資質・能力の整理
- ・ICT (クロームブック) の活用

【徳】

- ・各校の教育目標に共通する「他者への思いやり」
- ・現状の生徒の様子から、「命を大切にしている心情、寛容な心」特に以上2点の連続性を重視

【体】

- ・自らの生活習慣を振り返り、健康の保持増進を習慣化させるための取組の一貫性
- ・ICT (クロームブック) を活用した体力向上の取組

- ・教科間の指導内容について資質・能力の接続の視点で交流
- ・学び方 (個の学び、協働の学び) について、その方法の交流
- ・キャリア形成と自己実現に向けた「基礎的・汎用的能力」を育むための計画の体系化、キャリアパスポートの在り方の確立

- ・SNSのモラル、交通安全など規範意識の育成に関する交流
- ・道徳推進教師間の交流
- ・いじめ防止の取組についての交流
- ・生徒会と児童会の交流 (幼少中 PTA、地域との連携、ボランティア活動等)
- ・命を大切にする指導の交流

- ・運動習慣定着のための取組の交流
- ・命と性に関する指導の交流
- ・感染症対策の交流
- ・部活動体験入部 ※状況次第
- ・食に関する指導の一貫性
- ・雪に関する冬期間の体力向上の取組の交流

スケジュール

- ・長期休業のズレを生かした、児童生徒の交流活動 (児童会生徒会・部活動8月・1月) 授業参観交流 (適宜)
- ・新中1年生向け中学校の紹介 (※状況次第 生徒会活動、部活動 2月) ・9年間を見通した教材配置の作成
- ・新中1年生の情報交流 (3月) ・養護教諭間の情報交流 (生徒の健康状況、アレルギー等 3月)
- ・こんなことできたら・・・オンライン合同研修会 (子ども理解やカテゴリーを決めての交流 長期休業中)